

ボランティア関係機関職員養成講座【第2回】

令和4年10月8日(土)10:00~12:00 県総合社会教育センター第1研修室 受講者数30名

1 趣旨

ボランティア関係者、実践活動者等の資質向上を目的とした対話・参加型のディスカッションを開催し、本県の社会参加活動の推進及び充実を目指す。

2 内容

【講義】「気軽に始められるボランティアとは」

特例認定特定非営利活動法人 SEEDS NETWORK 理事長 おおにし 大西晶子氏

【事例発表者】

コギンザシスト、認定NPO法人 SEEDS NETWORK 理事

CLEANINGDAY 津軽

学生団体@ぼくらし next 前代表、こつがる女子部

くどう 工藤夕子氏
さとう 佐藤萌野氏



3 講義要旨

- ボランティアの定義はいろいろとありますが、そこを考えるより、まず体を動かしてみることが気軽に始められるボランティアなのではないかと考えます。
- 人から認められたり褒められたりするようなボランティアをするというよりは、自分がそれをして気持ちいいかどうか、それをされて嬉しいかどうかということが大切だと思っています。
- 一人一人が目の前にいる人に少し優しくすることができれば、社会はもっと良くなるのではないのでしょうか。目の前の人を笑顔にするために、ボランティアに一步踏み出してくれたらと思います。

4 アンケート結果から

受講結果に満足	75%	どちらかと言えば満足	25%
どちらかと言えば不満	0%	不満	0%

(受講者の感想)

- ボランティアを募集するときに、気軽にできることが重要であることが分かりました。ただそのためには、ボランティアのリーダーを養成するか、適任な方を探すことがさらに大きなことだと感じました。今後は気軽に参加できることと、そのボランティアに好きで参加できるような環境整備が重要であると感じました。
- ボランティアの活動にも幅広く取り組まれている工藤さんのお話を聞いて、一つの趣味からこんなにも人の役に立つ活動に繋がられるのかと驚きました。
- 自分で何かやりたいことを企画し、それをするには多くの人とコミュニケーションをとり、お互いにスキルアップできるという考え方で行動することが大切だということが分かりました。これからはもっと視野を広げ、ボランティアについて深く知っていきたいです。

第2回の講座では、自分が無理をしないで取り組める活動、興味のある活動への参加がボランティアに繋がっていくということを学ぶことができました。また、事例発表者のボランティアを始めたきっかけを知ったり、実際に取り組んでいるボランティア活動の紹介を聞いたりすることで、「ボランティアをしてみよう」と思えるような内容の講座となりました。